

**2024 年度 福岡デザイン専門学校
第 2 回「学校関係者評価委員会」報告書**

日 時 2025 年 3 月 21 日（金）17：00～18：30

会 場 福岡デザイン専門学校 1F ギャラリー

出席者 篠田 正浩（委員長） 野呂 英俊（委員） 青野 香織（委員）
脇山 真治（委員） 武永 茂久（委員） 松尾 祐一（委員） （6 名）

欠席者 石河 圭介（委員） （1 名）

オブザーバー（学校教職員）

伊場 芳朗・西畑 晴美・中嶋 尚孝・田所 恵介

植村 明広・荒木 光信・大石 陽

※開会挨拶（伊場理事長）

今年度も学校の現状などについて、ご意見をいただきたい。

委員が 1 人、救仁郷友和氏から松尾祐一氏（株式会社ジーエークレアス代表取締役）に変更になりました。

2025 年度より、学校長に西畑晴美が就任します。

■議 題：福岡デザイン専門学校「2024 年度自己評価表」に関する審議・評価

※資料「2024 年度学校自己評価表」の各評価項目に対し、学校側よりその理由を説明後、委員からの質疑応答により、議論・再評価を行った。

- 1.教育理念・目的・育成人材像等
- 2.学校運営
- 3.教育活動
- 4.学修成果
- 5.学生支援
- 6.教育環境
- 7.学生の受入れ募集
- 8.財務
- 9.法令等の遵守
- 10.社会貢献・地域貢献
- 11.国際交流

■委員からの意見と学校からの回答

●基準 1.教育理念・目的・育成人材像等について

・特になし

(伊場理事長より、専門性を更に強化・特化した教育に取り組み、それをどう身に付けさせるかを今後検討していく旨、付け加えられた)

●基準 2.学校運営について

委員の意見	学校の回答
2-3の「ほぼ適切」に変更した理由について説明してほしい。	給与の規定がないため。 査定に関する基準もないので整備していく。
2-3の課題の文面、「長年見直されておらず」は不適切な表現ではないか。	修正します。
2-4の成果が記載されていない。	記載します。
2-6の「適切」に変更した理由について説明してほしい。	本校で出来る、デジタル化は対応できていると判断したため。

●基準 3.教育活動について

委員の意見	学校の回答
3-6の成果にAIを試験的に授業で実施したことを記載するべき。	記載します。
AI教育の具体的内容は何か。	リテラシー、伝え方への利用、メリットデメリットの体系的指導、著作権や偽造問題など。
今後の取り組みに現在進行中の教育システムの変更やカリキュラムの見直しなども記載してはどうか。	検討します。

●基準 4.学修成果について

◎4-1の評価は、就職率の上昇に伴い、「ほぼ適切」から「適切」に変更することを説明。

委員の意見	学校の回答
4-1の成果として、卒業後、すぐに起業する人材がいることを記載してはどうか。	検討します。

●基準 5.学生支援について

委員の意見	学校の回答
5-5の「ほぼ適切」にあった成果や課題の文面にするべき。	修正します。

●基準 6.教育環境について

委員の意見	学校の回答
6－1の「ほぼ適切」の理由について説明してほしい。	内装の壁の壁紙のはがれなど、修繕できていない箇所があるため。
6－3の「適切」に変更した理由について説明してほしい。	本校のスペースや予算に合わせて、十分に対応していると判断したため。

●基準 7.学生の受入れ募集について

委員の意見	学校の回答
7－2の「適切」に変更した理由と「伝えられている」とする判断基準は何か。	入学者の増加で判断した。(30%増)
評価項目の定義が曖昧なものは、学校独自の判断基準を明記した方がよい。	検討します。
卒業制作の保管はどうしているのか。	上位のものは作品自体やデータでストックしている。
専門学校デザインの教育の優位性とは何か。	ライバルの明確化、就職の優位性、相対的ではなく一点突破できる力、個別対応・密な接し。

●基準 8.財務について

委員の意見	学校の回答
8－1の「ほぼ適切」の理由について説明してほしい。	ここ数年、学生数減少で、財政的に厳しい状況が続いている。
8－1は中長期なので、その点で安定が見込めていれば、「適切」でよく、安定しているように記載するべきではないか。	検討、修正します。

●基準 9.法令等の遵守について

- ・特になし

●基準 10.社会貢献・地域貢献について

- ・特になし

●基準 11.国際交流について

- ・特になし

◎その他、全体を通して、委員からの指摘

委員の意見	学校の回答
「様々」の表現は、具体的に記載すべき。	修正します。
「課題」「今後の改善方策」の文末が、適切な言葉になっていない箇所が多い。	修正します。
「成果」や「課題」の内容の振り分けを的確にしたい。	修正します。
目標が明確に記載されていると判断しやすい。	検討します。

■総 括

2024年度「学校関係者評価委員会」は、第1回目を2024年9月30日に、第2回目を2025年3月21日に学校自己評価表をもとに、より詳細な内容について審議を行った。

以上